

会報 長事研

長与町立長与小学校内
発行責任者 上戸 健
2014(H26)年9月10日発行

全事研静岡大会開催！！

8月6日から8日までの3日間、静岡市清水にある静岡市清水文化会館「マリナート」を主会場に第46回全事研静岡大会が開催されました。全国から2500名を超える事務職員の参加者がありました。(長崎県からは27名の参加)
また、8月5日には平成26年度の全事研定期総会が静岡市の静岡労政会館ホールで開催されました。総会には、上戸会長と佐藤副会長が出席いたしました。本号は、総会の概略と、全事研静岡大会参加者の感想を中心にお知らせいたします。

《全事研総会報告》

横山会長の挨拶で開会しました。冒頭、静岡県は横山会長の出身支部でもあり、また、昭和43年7月29日に熱海で全事研の創立総会が開かれその年の8月に設立された経緯もあり大変感慨深いとの話がありました。また、各種調査アンケートを通して事務職員制度の存続や研究団体としてのあり方について検討する中で未来を担う子どもたちの学校には事務職員がいなければならない状況を堅持していただきたいとの意見が述べられました。また今年度も10月31日に文科省との共催で「学校マネジメントフォーラム」を開催するとともに、11月の財務ウィークについては、平成30年まで継続したい考えであることが述べられました。

平成23年度から3年間会長をつとめられた横山氏に代わって、平成22年度から副会長だった鳥本氏が会長に選任されました。(新役員下記参照)

鳥本新会長略歴：兵庫支部 芦屋市立潮見小学校

H12年度～H15年度 兵庫支部事務局長

H17年度～H18年度 全事研理事(研修部理事)

H19年度～H21年度 全事研常任理事(研修部長)

H22年度～H25年度 全事研副会長

総会では、以下の内容について審議され承認されました。

1 事業報告 2 決算報告及び監査報告 3 会長・副会長及び監査の選出 4 規約改正 5 常任理事の承認
6 事業計画(案) 7 予算(案)

本年度役員

会 長：鳥本安博氏(兵庫支部)

副会長：阿部貴子氏(岩手支部) 工藤弥生氏(山形支部)

荻野恵美氏(埼玉支部) 小林円(神奈川支部)

幸島克昌氏(愛知支部) 平木雅万氏(熊本支部)

監 査：橋本仁宏氏(静岡支部) 上田千宏氏(熊本支部)

理 事：事務局長 森山智香子氏(愛知支部)

財務部長 竹田修氏(埼玉支部) 情報推進部長

長倉久登氏(静岡支部) 研究開発部長 飯島由

美子(埼玉支部)

事業計画では、活動目標・活動の柱・活動計画が提案されました。主な行事の日程は以下のとおりです。

評議員会：平成27年2月12日(木) 川崎市

定期総会：平成27年8月4日(火) 熊本市

全事研セミナー：平成27年2月13日(金)

場 所 川崎市教育文化会館

学校マネジメントフォーラム

(文科省との共同開催)：

平成26年10月31日(金) 場 所 文部科学省

議事に先立ち功労者の表彰が行われました。表彰では、相田サダ子氏(福島支部) 他計8名の方々に感謝状が贈られました。

《全事研研究大会報告》

<開会式>

富坂雅秀大会実行委員長が「静岡大会を通して新しい学校事務や人材育成を語り合う時を作ってください。」と開会を宣言しました。開会式では、下村博文文科大臣からのご祝辞が代読されその後、川勝静岡県知事、田辺静岡市長が、それぞれにお祝いとお歓迎の言葉を述べられました。

<文科省行政説明>

文部科学省初等中等教育局

視学官 酒井 貢 氏

- 1 学習指導要領の改訂
- 2 生徒指導の充実
- 3 土曜日の教育活動の推進
- 4 特別支援教育の推進
- 5 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要

<全体研究会>

H20年8月に発表の「学校事務のグランドデザイン」及び第7次研究中期計画5年間の成果と課題の検証が行われた。次に「第2期学校事務のグランドデザイン」(第2期学校事務のグランドデザインの概要については近々全事研ホームページへアップされる予定です)の発表が行われ、策定内容、実行策を基に、学校事務及び事務職員が目指す中・長期的な将来構想やミッション達成

に向けて、「人・組織・地域教育行政・研究活動」の4つ基本的方向性が報告されました。続いて、これからの活動、研究の方向性や在り方を示す第8次研究中期計画の説明がありました。

<分科会>

○本部研究分科会

学校のマネージメント力を強化する

人材育成と学校事務

ー組織開発を促す人材育成と事務職員の役割ー

<参加者感想>

・地域とともにある学校づくりにおける新たな学校の組織として地区学校事務室の理論発表があったが、現在の長崎県の現状ではなじまない感じでした。

人材育成に必要な能力は、教職員や地域の人々と協働し、実践していく中で身に付けることができると発表されました。会場の分科会参加者に協働性が高いと思われる仕事と協働する対象について記入したカードを利用して臨席の人と意見交換を行う方法は良かった。

・全体研究会では、学校職員以外で専門的に組織されたコミュニティスクール担当者がある学校や、地域との連絡調整を加配職員により対応している学校からの報告であったため、必要性を感じながらもあまり現実味がありませんでした。分科会の提案は事務職員が主体的にマネージメントを担い、教職員と保護者・地域と共に学校経営を行う「地区学校事務室」という組織を構成していこうというものでした。子ども達の育成のためには学校が保護者や地域と共に研修しながら組織力を高めることが大切であり、情報を的確に把握し発信していく役割を担うことは、事務職員の存在意義を高めるために必要なことだと感じました。

○第1分科会（山梨支部）

「やまなし」人づくり チャレンジプラン

ー信頼される学校事務 スクールソムリエをめざしてー

<参加者感想>

・ワールドカフェ方式での分科会は初めて参加しました。初めてなので戸惑いましたが、結構盛り上がっていました。いろんな県の方と話すことができている経験ができました。

○第2分科会（鳥取支部）

学校を変える力になる。

行動変革を支える「とりビジョン」

ーギアチェンジ！とっとり発

学校事務職員の職位と成長ー

<参加者感想>

・鳥取のグランドデザイン「とりビジョン」の分科会でした。講師の先生の「できることから実践することが重要です」との発言が心に残りました。全国大会ではいつも多くの刺激を受けます。参加する意義は大きいと思います。自分ができるところから初めてみようと思います。

○第3分科会（愛知支部）

2020年を目指すーいま、愛知事務研の転機ー

<参加者感想>

・これからは、事務職員にとって地域と関わっていくかが重要であるとの話しが中心でした。これからは事務職員も変わっていかねばならないと思います。しかし、今の長崎県で本当にそのようなことができるのか、どこから始めればいいのかちょっと悩んでしまいます。

○第4分科会（岐阜支部）

子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務

ー「チーム郡上」ゆるやかな連携ー

<参加者感想>

・郡上市は平成16年に7町村が合併し誕生した新しい自治体で、合併に伴う「文書管理システム」「備品管理システム」、「提出文書の様式統一」等に事務職員が主体的に取り組んだ事についての実践発表がありました。午後のワールドカフェでは全国各地の事務職員の方々と意見交換が出来、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。最後は郡上市事務職員OB、OGの方々も加わり、参加者全員で「郡上おどり」を踊りました。郡上市小中学校事務職員会の結束の強さを感じた分科会でした。

・随所に、「チーム郡上」を感じさせられる分科会でした。市内事務研が主導して、町村合併後の諸規定の整備、初任者研修等についても総力を上げて実践してきたことが伝わってきました。分科会の構成・運営にも工夫が見られました。質問事項については質問用紙により昼食前に回収、午後にとまとめて回答し、分科会全体の場での研究協議等はなかったものの、ワールドカフェ方式の少人数グループでの意見交換によって、参加者全体が話し合いに参加しているように感じられました。丁寧に準備されており、和気あいあいとした雰囲気の中で盛り上がった分科会でした。

○第5分科会（三重支部）

今の「わ・た・し」から発信～つなごう次世代へ！

ーみんなで活かす”あなたのチカラー

<参加者感想>

○第6分科会（静岡支部）

信頼される学校づくりのために、

学校事務職員にできること

ーキーワードは、経営参画・協働・人材育成ー

<参加者感想>

静岡大会は最終的には2500名以上の参加者ありました。いよいよ熊本大会まで1年を切りました。熊本大会も静岡大会に負けにくいくらい多くの方々に集まっていたきたいと思います。長崎県が分科会報告を担当する熊本大会と一緒に盛り上げていきましょう。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

<会報連絡先>長崎市立池島小学校：吉野一

TEL 0959-26-0040 FAX 0959-26-0450